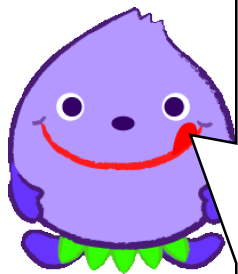


小川デザインプロジェクト 基本設計修正レイアウト（案）の ポイント

令和2年8月



平成30年度から令和元年度まで、ワークショップなどの小川デザインプロジェクトで検討し、令和元年度に策定した「小川駅西口地区市街地再開発事業公共床等の整備基本計画に基づき作成した基本設計レイアウト（案）（以下、「レイアウト（案）」という）に対して、令和2年6月に意見募集を行いました。

市民等からの意見を踏まえ、基本設計修正レイアウト（案）を作成しましたので、ポイントを説明します。

1. これまでの経緯
2. コンセプトの具体化（案）
3. 全体レイアウト（案）のポイント
4. 4階レイアウト（案）のポイント
5. 5階レイアウト（案）のポイント
6. 意見募集の結果（令和2年6月）
7. 4階の修正レイアウト（案）のポイント
8. 5階の修正レイアウト（案）のポイント
9. スケジュール

中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館
の更新等に関する基本計画

小川駅西口地区市街地再開発事業公共床等の整備
基本計画

令和元年12月
小 川 市

中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の更新等に関する基本計画、小川駅西口地区市街地再開発事業公共床等の整備基本計画」もあわせてご覧ください。

基本計画は、市ホームページでもご覧になれます。

1. これまでの経緯

小川駅西口公共床等について

小川駅西口公共床等の複合化の方向性は以下のとおりです。

「地域対応施設（注）である西部市民センターにある機能は、小川駅西口公共床に移転します。小平元気村おがわ東にある「市民活動支援センターあすぴあ」及び「男女共同参画センターひらく」についても、公民館や図書館との相乗効果をもたらすことを目的として、小川駅西口公共床に移転します。」

（注）... 市内の一定の地域を中心とした利用を前提とした施設



	日程等	参加人数等	概要
中央・小川デザインカフェ ※準備会を除く	2018(H30)年11月～2019(H31)年3月 全12回開催 (中央6回、小川6回)	登録者数 55名 延べ参加者数 198名 (中央112名、小川86名)	ワークショップ形式で、中央エリアの(仮称)新建物(注)及び小川エリアの小川駅西口公共床等について意見やアイデア等を出しあった。
利用者・利用団体ヒアリング	2018(H30)年11月～12月 全8回開催(中央公民館、福祉会館、西部市民センター、小平元気村おがわ東 各2回)	延べ参加人数 76名 延べ参加団体 57団体	実際に施設を使用する利用者・利用団体に活動の実態、課題や要望について、直接、聞き取りを行った。
アンケート	2019(H31)年2月～3月 アンケート調査票配布・回収	配布 4,327部 回収 1,554部 回収率 36%	中央・小川エリア周辺の学生、在勤者、子育て世代、障がい者、近隣住民を対象に実施した。
出前授業	2019(H31)年1月～2月 実施	小学校 7校・432名参加 中学校 2校・321名参加	中央・小川エリア周辺の学校にて、公共施設の現状と課題を説明し、新しくできる施設でやりたいこと等を考える授業を行った。

小川デザインプロジェクトでの様々なご意見を踏まえて基本計画を策定しました。
基本設計で具体化します。



小川駅西口地区市街地再開発事業公共床等の整備基本計画より抜粋

基本計画での「コンセプト・施設機能」や小川デザインプロジェクトでの意見（概要）

生涯学習（公民館、図書館）機能のほか、市民活動支援、男女共同参画のそれぞれの機能は縦割りに独立したものでなく、一体的な新しい施設となることを目指す。

新しいタイプの公共施設へのチャレンジとして、ビジネスパーソンや学生にとっての利便性向上、大学や企業と連携した公共床の活用など、回遊や滞在による、にぎわいの創出を目指す。

図書を開覧するためのスペースとして、本に囲まれた居心地の良い空間を設ける。

西部市民センターや小平元気村おがわ東から移転する機能のほか、コンセプトを踏まえた付加価値的な空間を設ける。

様々な人や世代が気軽に集い交流する場として、フレキシブルで多目的に使えるフリースペースを設置する。

憩いの場として、軽食のできるスペース（カフェ等）を設置する。

ダンスや音楽などの活動をするため、一般的な防音機能を備えたホール（フラットで広めの多目的室）を、5階北西側に設置する。また、中高生等の居場所として、バンドやダンスの練習等ができる防音室（スタジオ）を設置する。

学習室、講座室、集会室等、市民が利用する部屋の機能を保持しつつ共用化・多目的化を図る。

4階から5階を吹き抜けにすることで本が繋ぐようなイメージとする。

施設内の各機能の配置については、可変的な空間設計などの工夫を行う。

4階には、子どもを中心とした空間と総合案内案内窓口も配置する。5階には、音楽会なども行える多目的の設置とコワーキングスペースも配置する。

4階には事務スペースや図書貸出機能など行政サービス機能を配置し、図書スペース内にカフェ等を配置する。5階のフラットで広めの多目的室は可動式の間仕切りで多様な活用を可能とする。

4階を静ゾーン、5階を動ゾーンとし、4階には子どもや高齢者に関する機能、総合案内窓口や出張所を配置し、5階には富士山を見ながら活動ができるように公民館的な機能を配置する。

通路幅を広くし障がい者が通りやすい空間とする。

4階にはエントランス機能やギャラリー機能、子どものためのスペースやカフェを配置し、5階は全体的に大人の空間として多目的室を配置する。



2. コンセプトの具体化（案）

基本計画で掲げる小川駅西口公共床等のコンセプトについて、これまでの小川デザインプロジェクトなども踏まえて具体化するレイアウト案の検討を行いました。

4階・5階全体レイアウトコンセプト

「本と多様な活動が重なりあう創造空間」

施設全体を本に囲まれた居心地の良い空間とします。生涯学習（公民館、図書館）と市民活動など多世代の多様な活動が重なり合い、相乗効果を生み出すことを目指します。

4階レイアウトコンセプト

「利便性の向上と子育て世代の利用促進」

4階は、アクセスしやすいフロアであることに着目し、西部出張所や総合受付案内を配置します。また、子育て世代に魅力を発信するフロアにします。

5階レイアウトコンセプト

「開放的で多様な活動の共存」

5階は、眺めが良いことに着目し、多目的室などを配置します。

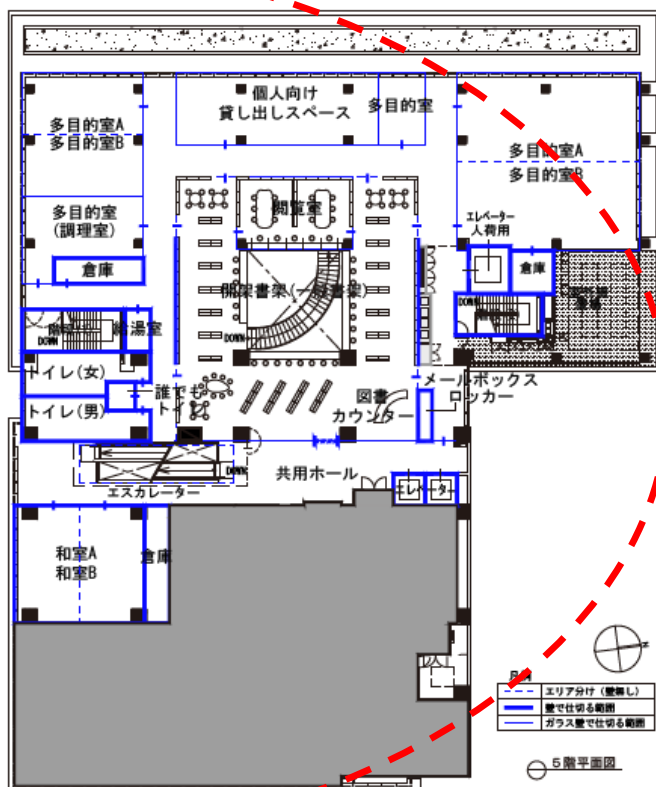
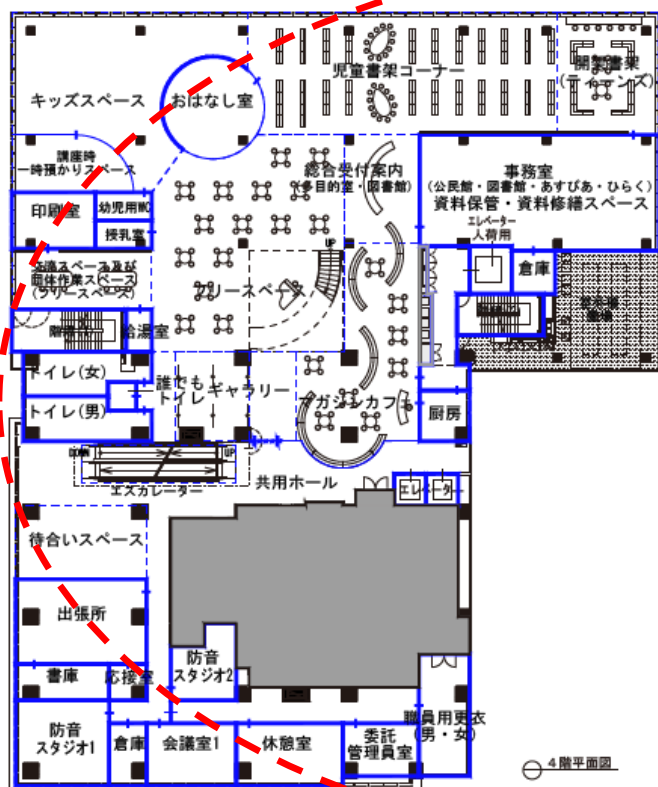
また、多様な活動や人々が集まり共存し、互いの活動の様子を発信できるフロアにします。

3. 全体レイアウト（案）のポイント

本と多様な活動が重なりあう創造空間

ポイント1

本を各階に配置し、施設全体を本に囲まれた空間とします。生涯学習（公民館、図書館）と市民活動など多世代の多様な活動が重なり合い、相乗効果を生み出すことを目指し、つなぎ目のない配置とします。



ポイント2

打合せや読書のほか、気軽に集い交流する場として、オープンで自由度の高いフリースペースを各階に設けます。

また、視覚的な連続性、開放感を創出するために吹き抜けと内階段を設けます。

ポイント3

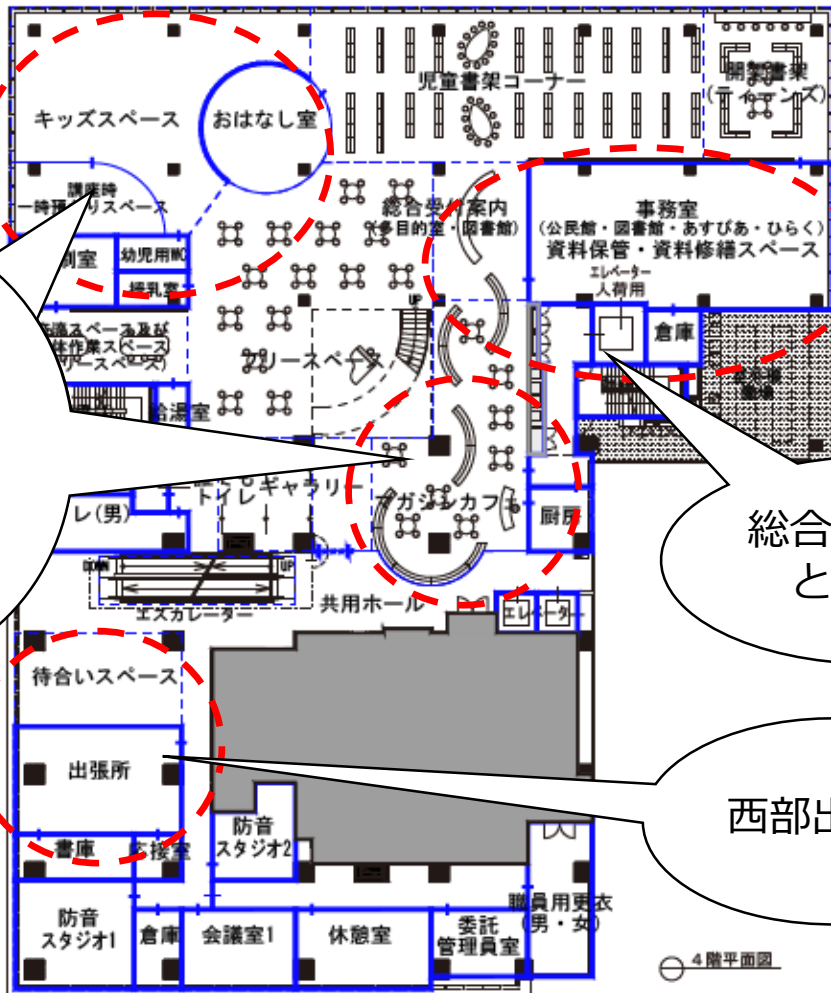
障がいのある方も利用しやすいように通路幅などに配慮します。

4. 4階レイアウト（案）のポイント

利便性の向上と子育て世代の利用促進

ポイント 1

利便性の向上として、4階に西部出張所を配置します。
また、問い合わせなどに総合的に対応できるように
総合受付案内と各機能を集約した事務室を配置します。



ポイント 2

子育て世代の図書館の利用促進につながるよう、ゆったりとしたキッズスペースを設け、隣接して児童書架とお話し室を配置します。

また、憩いの場として本や雑誌を読みながら過ごすことのできるカフェスペースを設けます。

5. 5階レイアウト（案）のポイント

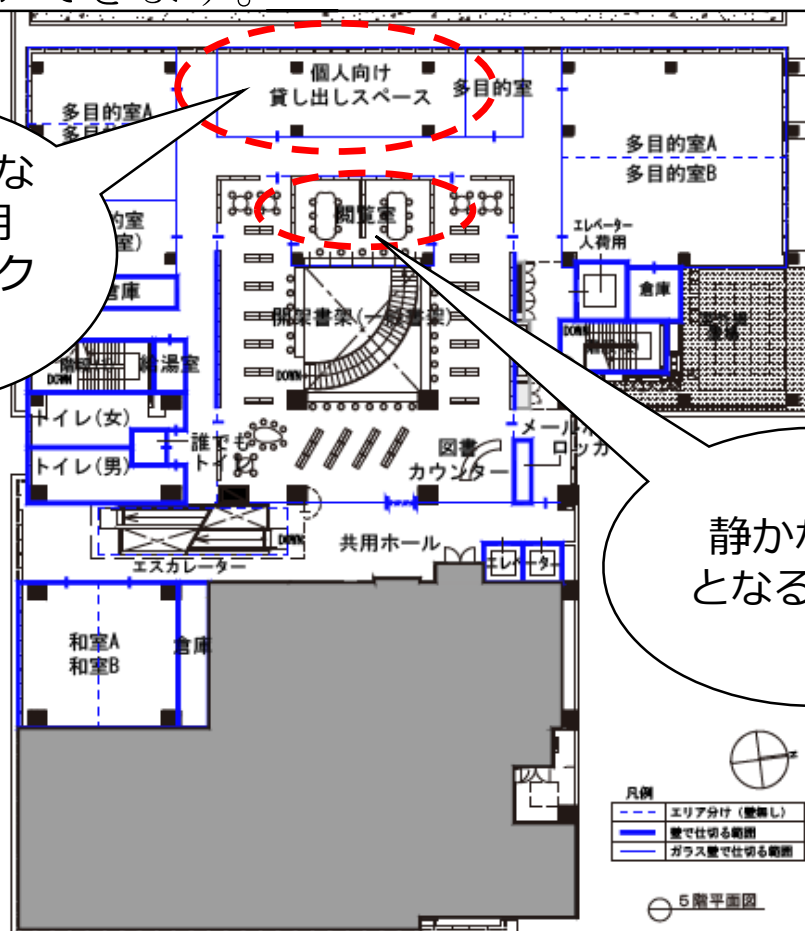
開放的で多様な活動の共存

ポイント1

眺めのよい5階全体に多目的室などを配置します。多目的室などをガラス壁とすることで、開放的な空間とし、図書館利用者にも活動の様子を発信することができます。

また、部屋の間仕切りも可能で、用途に応じた空間をつくることができます。

仕事、勉強などにも活用できるワークスペース



静かな空間となる閲覧室

ポイント2

サラリーマンや学生の利用など、個人の書斎のようにゆったりと落ち着いた環境で、個人でも利用できるワークスペースを設けます。

ポイント3

静かに本を読みたい方のための閲覧室を設けます。

6. 意見募集の結果（令和2年6月）

■意見募集について（令和2年6月）

令和2年6月に、レイアウト（案）について、ワークショップ及び利用者・利用団体ヒアリングを行う予定でしたが、4月の国の緊急事態宣言での人と人との接触を避ける必要があること等を考慮し、市ホームページによる意見募集に変更し、実施しました。

■意見募集の結果

○意見募集期間

令和2年6月11日から24日（14日間）

○意見の件数等

延べ36人、184件

多くのご意見をお寄せいただき誠にありがとうございます。
次ページに主なご意見を紹介いたします。



■公民館の機能に関すること

- ① 新しい総合的な名称に変えるのか。
- ② 多目的室は学習、講座室、工作室と機能を分けるべき。

■図書館の機能に関すること

- ① 本を静かに読む空間と、対話が生まれやすい空間のメリハリがあるとよい。
- ② 4階西側を子どもエリア、若い保護者エリア、ティーンズエリアとしてまとめるアイデアはよい。

■あすぴあ・ひらくの機能に関すること

- ① あすぴあなどの活動が、公共からの支えも十分行いながら、市民的な自立性・自由性をしっかり保てるようにしてほしい。
- ② 男女共同参画は生涯学習や市民活動支援と一体的にとあるが、運用内容や一体的にすることで施策効果は具体的にどうなるか。
- ③ あすぴあ・ひらくの専用のスペースを作してほしい。

■出張所の機能に関すること

- ① 駅に密着した公共床として、特に出張所機能の使いやすさ・わかりやすさを重視してほしい。

■ユニバーサルデザインに関すること

- ① 案内図はわかりやすいものとしてほしい。
- ② 各部屋やトイレ入口、エレベーターのボタン、階段の手すり等に点字表示を設置してほしい。

■各部屋のレイアウト等に関すること

- ① おはなし室は円形ではなく、壁側に寄せてほしい。また、子どもたちが集中してお話を聞ける環境としてほしい。
- ② 吹き抜けはいらないので、床面積を確保すべき。
- ③ 吹き抜けはデザインカフェにあった内容が反映されていてとてもいいと思う。
- ④ 憩いの場を5階にも設置してほしい。

■その他に関すること

- ① 図面に人の大きさや車いすの大きさを示すとわかりやすい。
- ② 子育て世代、若者をメインターゲットにしたレイアウト案は「賑わいの創出」にふさわしく好感がもてる。

7. 4階修正レイアウト（案）のポイント

利便性の向上と子育て世代の利用促進

ポイント1

交流スペースを活動の様子が来館者に見やすい位置に移動し、ギャラリーは多目的室としても活用できるようにしました。



ポイント2

おはなし室を壁に寄せ、また、スペースの有効活用の観点から、おはなし室と一時預かりスペースを兼用としました。

ポイント3

スペースの有効活用の観点で、会議室と休憩室を一体化し、防音スタジオ2を窓側（東側）に配置し、多目的室を新たに設けました。

8. 5階修正レイアウト（案）のポイント

開放的で多様な活動の共存

ポイント1

憩いの場として、北西の窓側にフリースペースを設けました。



ポイント2

倉庫を多目的室間に配置し、どちらの部屋からも使用できるようにしました。

ポイント3

和室A・Bともに外が眺められるレイアウトにしました。

9. スケジュール

令和2年8月5日から18日

修正レイアウト（案）に関する意見募集

令和2年8月6日

利用者・利用団体ヒアリング（小平元気村おがわ東）

令和2年8月8日

ワークショップ（小川西町公民館）

令和2年8月11日

利用者・利用団体ヒアリング（小川西町公民館）

令和2年10月

オープンハウス（2回程度）開催

令和2年10月末

基本設計書完成

令和2年8月5日から8月18日までの
期間で、修正レイアウト案に関するご意見
を募集しています。

詳しくは市ホームページをご覧ください。



【お問合せ】 小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課
〒187-8701 小平市小川町2-1333
TEL042-346-9557 FAX042-346-9513
メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp